

遠トラ、浜松の中継物流拠点近くに1万坪新倉庫

Edited By LogisticsToday On 2018/11/06



遠州トラックは6日、浜松市北区の同社「都田倉庫」の隣接地1万1873平方メートル（3591坪）に鉄骨造2階建て、延床面積9972平方メートルの新倉庫を建設する、と発表した。

現地は新東名高速道路浜松サービスエリアスマートICの隣接地で同社が受託運営している中継物流拠点「コネクトエリア浜松」から2キロと近く、同拠点の機能を補完する倉庫となりそうだ。

貨物の積み替え、浜松などの静岡県内向け共同集配や保管・仕分け・流通加工に対応する機能を備え、大消費地である関東・関西の中間に立地する企業の強みを生かした物流拠点として、幅広いニーズに対応していく。

■施設の概要

所在地：浜松市北区都田町

敷地面積：1万1873平方メートル

構造：鉄骨造2階建て

延床面積：9972平方メートル

着工：2018年10月

竣工：2019年9月

稼働：2019年10月

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/329582>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.